

② 協働の形態：実行委員会・協議会等（21件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
1	第18回全国高等学校選抜アイスホッケー大会 (スポーツ都市推進課)	例年実施 (平成18年頃から継続実施)	アイスホッケー大会の開催（男子高校生） 全国高校総体（インターハイ）と並ぶ全国大会を開催し、アイスホッケーの人気向上や競技人口の拡大のほか、本市の知名度向上や地域の活性化を図る。	全国高等学校選抜アイスホッケー大会苦小牧市実行委員会	令和 5年 8月11日～16日 (6,492人)	アイスホッケー競技の競技力向上や、関係者の多くが市内に滞在し、地域活性化を図ることができた。
2	令和5年度全国高等学校総合体育大会 (スポーツ都市推進課)	単年度（新規）実施	高等学校生徒の健全な発達を促すため、体育・スポーツ活動の普及と発展を図ることを目的としている。	令和5年度全国高等学校総合体育大会苦小牧市実行委員会	令和 5年 7月22日～ 8月 7日 (約20,000人)	北海道でのインターハイ開催は36年ぶりであったことから約18,000人もの観客が訪れ大会は大いに盛り上がった。
3	空家等対策委員会 (市民生活課)	例年実施 (平成30年頃から継続実施)	空家等対策の推進に関する特別措置法及び空家等対策計画に基づき、空家等対策委員会を設置し、外部の識見を有する方にご意見、ご助言等を頂くため。	苦小牧工業高等専門学校、苦小牧市町内会連合会、札幌司法書士会、札幌法務局苦小牧支局、北海道建築士会苦小牧支部、北海道宅地建物取引業協会	令和 5年 7月14日 (7人) 令和 5年11月30日 (7人) 令和 6年 2月13日 (7人)	空家等対策委員会では、毎回テーマを決め、議論を進めている。 令和5年度は第2次空家等対策計画策定や進行管理に関する質疑が多かった。専門的知見から意見を頂き、有意義なものになった。
4	苦小牧市資源リサイクル団体連絡協議会 (ゼロごみ推進課)	例年実施 (平成5年頃から継続実施)	苦小牧市資源リサイクル団体連絡協議会は、ごみの減量と資源化を全市的な運動とすることを目的に設立された組織であり、集団回収活動が効率よく行われるよう情報提供等を行っている。 ①集団回収（通年） ②資源リサイクル団体連絡協議会総会、役員会開催による情報交換と連携の強化 ③資源回収団体奨励金制度による支援	町内会・自治会、老人クラブ、学校PTA、同好会、各種団体等	第1回役員会 令和 5年 7月 6日 (7人) 第2回役員会 令和 6年 1月22日 書面開催 (8人へ送付) 第1回総会 令和 5年 7月20日 書面開催 (222団体へ送付)	集団回収活動は、ごみの減量・リサイクル、地域のコミュニティ活動にもつながることから今後も活動を支援する。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
5	社会を明るくする運動 (青少年課)	例年実施 (昭和26年頃から継続実施)	犯罪や非行の防止とあやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くことを目的とする。	社会を明るくする運動 苫小牧地区実施委員会 ・苫小牧市 ・苫小牧地区保護司会 ・苫小牧更生保護女性会 ・苫小牧地区協力雇用主会 ・苫小牧市防犯協会 ※事務局は健康こども部青少年課	令和 5年 7月 3日 (2名) (内閣総理大臣メッセージ伝達式) 令和 6年 3月 8日 (8名) (交流事業) ※書籍の寄贈	7月の強調月間において、苫小牧地区実施委員会会長から苫小牧市長に内閣総理大臣メッセージ伝達を行い、社明運動の市民周知を図ることができた。 また、児童養護施設との交流事業として書籍の寄贈を行い、子どもたちへ知識や情報を提供することができた。
6	各種祭典及び大型店の合同巡回指導・調査 (青少年課)	例年実施 (昭和45年頃から継続実施)	苫小牧市内における青少年の健全な育成及び非行防止のため、青少年にとって有害な図書や環境を排除し、より良い社会環境の整備を図ることを目的とする。	苫小牧市有害環境排除 モニター連絡協議会 (モニター会員13名) ※事務局は健康こども部青少年課	(モニター連絡協議会) 令和 5年 5月11日 (9人) 令和 5年10月 5日 (8人) 令和 6年 3月18日 (9人)	各種祭典及び大型店の合同巡回指導・調査に行くことで、児童・生徒等の校外における行動の実態を把握することができた。
7	とまこまい港まつり (観光振興課)	例年実施 (昭和31年頃から継続実施)	市内最大のイベントである港まつりの開催・運営 例年、中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約150店舗の露店の出店、一条通での市民おどり、マーチングフェスティバル、港湾エリアでの護衛艦等の一般公開や「とまみん苫小牧百年花火」を行っている。令和4年度は市民おどり・マーチングポートカーニバルは中止だったが、規模縮小し3年ぶりに開催した。令和5年度は4年ぶりに全面開催予定であったが、雨天のため最終日のマーチングポートカーニバルは中止となった。	北海道電力㈱苫小牧支店、出光興産㈱北海道製油所、トヨタ自動車北海道㈱等の企業のほか、苫小牧観光協会等の協会組織、商工会議所等約50団体が実行委員会の委員として参加	令和 5年 8月 4日～6日 (約320,000人)	多くの市民が参加することにより、ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む事ができる。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
8	とまこまいスケートまつり (観光振興課)	例年実施 (昭和42年頃から継続実施)	冬の一大イベントであるとまこまいスケートまつりの開催・運営 例年、中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約50店舗の露店の出店、スケート競技やアイスホッケー大会の開催や苫小牧名物「しばれ焼き」を開催している。	北海道電力(株)苫小牧支店、出光興産(株)北海道製油所、トヨタ自動車北海道(株)等の企業のほか、苫小牧観光協会等の協会組織、商工会議所等約30団体が実行委員会の委員として参加	令和 6年 2月10日～11日 (約62,000人)	スケートの街「氷都とまこまい」を市内外にPRし、市外からの観光客も多く訪れている。 特に「しばれ焼き」は苫小牧を代表する名物として広く愛され、子ども達が楽しめるアトラクションも多く、家族で楽しめるイベントとなっている。
9	とまこまいコスプレフェスタ (観光振興課)	例年実施 (平成26年頃から継続実施)	サブカルチャーによる苫小牧市への地域振興や誘客促進を図り、地域の活性化に寄与することを目的とする。 苫小牧市内の各企業などからの協力を得て、コスプレイヤーに対して撮影会場を提供。撮影の他にもステージイベントや痛車展示会、飲食ブースの出店などコスプレイヤーだけではなく、みなが楽しむことができるイベント。	MEGAドン・キホーテ苫小牧、苫小牧総鎮守樽前山神社、日本軽金属(株)苫小牧製造所等16団体が実行委員会の委員として参加	令和 5年11月 4日～ 5日 (約9,500人)	道内で2番目に誕生したコスプレイベントで、例年市外及び道外からも参加者が多数苫小牧市に訪れている。特に撮影会場については、市内各企業のご協力があり提供できているため、苫小牧市全体で1つのイベントを作り上げているといえる。昨今のアニメ文化の盛り上がりもあり、老若男女問わず楽しむことができるイベントとなっている。
10	東胆振物産まつり (観光振興課)	例年実施 (令和5年度の時点で第40回が開催されている。)	各地域の特産品等の展示・即売、観光宣伝などを協調して実施することを通じ、東胆振広域圏の連携を強化し地域産業の振興を図ることを目的に実施。 10月末頃、MEGAドン・キホーテ3階で1市4町の特産品コーナーを設け、東胆振管内で生産もしくは加工された食料品及び民芸品や名物として親しまれてきたものを一堂に集め、地域の特色を生かした展示即売を行っている。 令和5年度で40回目の開催を迎え、多くの方が来場し非常に盛り上がるおまつりとなっている。	1市4町の首長をはじめ、とまこまい広域農業協同組合やいぶり中央漁業協同組合、各町の観光協会や商工会のほか14団体が実行委員会の委員として参加。	令和 5年10月27日～29日 (約8,800人)	本まつりを通して1市4町の特産品の展示即売を行うとともに、会場内に各町のパンフレット等を設置することで東胆振広域の連携を強化し、地域産業の振興に貢献した。 各市町の特産品をPRする取り組みとして、各首長が1日店長となったほか、ご当地キャラクターが集まる企画を実施した。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
11	ビジット苫小牧 観光会議 (観光振興課)	例年実施 (平成22年頃から継続実施)	本市における観光産業のつながりを強化するとともに、観光情報の共有により本市の観光を魅了する観光振興策を検討し、より多くの誘客を図ることを目的とする。 観光事業者、観光団体、経済団体、行政機関など、それぞれの分野で観光振興を図っている団体を構成メンバーとし、北海道への外国人観光客を含め、多くの観光客を苫小牧に引き付ける観光振興策を検討し、より多くの誘客を図る会議。	北海道運輸局苫小牧海事事務所、苫小牧港管理組合、苫小牧商工会議所、苫小牧観光協会、苫小牧青年会議所、北海道中小企業家同友会、フェリー協議会、北海道バス協会、J R、旅行会社、漁業協同組合、農業協同組合、一般公募者（若干名）が委員として参加	令和 6年 3月18日（8人）	それぞれの分野で観光振興を図っている団体が一堂に会し、意見交換を行うことで観光振興に対する意識が向上。また、新たな観光振興策の検討を行い、まちぐるみで観光振興に取り組むことで、交流人口が増加し地域経済の活性化へと繋がっている。
12	第10回苫小牧 漁港ホッキまつり (農業水産振興課)	例年実施 (平成23年頃から継続実施)	漁業、港湾振興、観光、まちづくりなどの関係団体が連携を図って、水揚量日本一を誇り苫小牧市の「市の貝」であるホッキ貝を広くアピールし、消費量の拡大や生産者(漁業者)と市民との交流を図るとともに、港湾区域や施設を一体的に利用した賑わいの創出と観光客の誘致を進め、まちの活性化を促進する。	苫小牧漁港ホッキまつり実行委員会	令和 5年10月15日（約30,000人）	市内外からたくさんの来場者があり、苫小牧産ホッキ貝のPRができたとともに、漁港区の賑わいの創出につながった。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
13	芝居公演「カラ オケマン 最後 のロマンス」 苦 小牧公演 (生涯学習課)	単年度（新規）実施	日頃から舞台芸術を身近で鑑賞 できる機会が少ない市民に、本 市出身で脚本・演出を手がける 水谷龍二氏の舞台芸術を提供す ることで、多くの市民の文化芸 術並びに伝統芸能に関する意識 向上を図ることを目的に開催。 本公演は「牛島昭シリーズ」第 7弾で、俳優の風間杜夫さんの ひとり芝居、「帰ってきたカラ オケマン」の続編にあたり、家 庭のいざこざに巻き込まれなが ら、個人の幸せや家族のあり方 を問いかける物語。	カラオケマン 苦小牧公 演実行委員会	令和 5年 6月 2日 (8人) 令和 5年 8月 1日 (10人) 令和 5年 8月24日 (9人) 令和 5年10月 3日 (10人) 令和 5年11月 2日 (11人)	本市出身で脚本・演出を手掛ける 水谷龍二さんの公演を本市でも上 演できたことは、多くの市民が興 味を持ち、舞台芸術をより身近に 感じてもらえたのではないかと考 えます。 公演当日は、幅広い年代の340名 にご来場いただき、風間杜夫さん の巧みな話術とコミカルな演技が 観客の笑いを誘い、拍手が湧き起 こる熱気溢れる舞台となり、アン ケート結果からも、次回の公演を 楽しみにしているという声が多く 聞かれました。 また、水谷龍二作品を初めて鑑賞 するといった方が4割近くいたこ と、11月7日にワークショップ 「演劇の魅力を語る」と題し、水 谷龍二さんなど講師に、演劇の面 白さと魅力を対話形式で行いまし たが、演劇関係者などからこう いった機会を継続してほしいとい う声もあった。
14	苦小牧市はたち を祝う会 (旧 苦小牧市成人 式) (生涯学習課)	例年実施	はたちを祝う会の式典の企画立 案や当日の運営に参画すること で、主体的に行動する苦小牧市 民としての自覚を深め、今後の 積極的な生涯学習活動への参加 を促す。	苦小牧市はたちを祝う 会実行委員会	委員会 令和 5年10月23日 (4人) 令和 5年11月14日 (4人) 令和 5年11月27日 (4人) 令和 5年12月 4日 (4人) 令和 5年12月11日 (5人) 令和 5年12月18日 (5人) 令和 5年12月25日 (5人) 令和 5年12月 6日 (5人) 令和 6年 1月 6日 (5人) 令和 6年 2月21日 (5人) ※委員会延べ46人 はたちを祝う会 令和 6年 1月 7日 1,082人	活動を通じて、これからの地域を 担う主体としての自覚を深めると ともに、地域で活動する団体や市 に対する理解・信頼を深めた。 ※令和 6年 苦小牧市はたちを祝う 会 ・出席者 1,082人 (対象者 1,512人) 出席率 76.1%

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
15	苫小牧市民文化祭 (生涯学習課)	例年実施 (昭和23年頃から継続実施)	広く市民が文化芸術に関する学習成果や活動成果を発表する場を提供することを目的とし、例年10月～11月にかけて、ステージ発表、文芸大会、総合展示発表、地域文化祭などの各種事業を、苫小牧市文化団体協議会と協働、その他多くの市民の協力により行っている。	苫小牧市民文化祭実行委員会（苫小牧文化団体協議会等）	ステージ発表 令和 5年10月23日～11月19日 (参加者1,240人 来場者2,190人) 文芸行事 令和 5年10月 8日～11月19日 総合展示 令和 5年10月28日～29日 (来場者数2,220人) 地域文化祭 令和 5年10月 1日～30日 (来場者数2,111人) 表彰式 令和 5年11月25日 (78名)	文化団体や市民と共通のイベントに対して共に取組むことで、目標や課題を共有しながら、文化芸術に対する学習成果や活動成果を発表・鑑賞する場を創出している。また、地域の文化団体の交流の場にもなっており、地域や文化団体のつながりづくり、各文化団体のコラボレーション等による相乗効果も見込まれている。
16	苫小牧アートフェスティバル 2023 (生涯学習課)	例年実施 (平成22年頃から継続実施)	出光カルチャーパークと周りの文化施設が連携し、「誰もが気軽に文化芸術に触れる機会の充実」を基本コンセプトに、市民に気軽にアートに触れてもらうとともに、出光カルチャーパークのすばらしさを知っていただき、市民の憩いの空間の形成を目的とする。	苫小牧アートフェスティバル実行委員会	委員会 令和 5年 4月24日 (6人) 令和 5年 6月30日 (7人) 令和 5年 7月25日 (5人) 令和 5年10月19日 (6人) 令和 6年 3月21日 (8人) (委員会延べ32人) イベント 令和 5年 7月29日～30日 (約10,600人)	ワークショップの開催や一般団体の発表機会などを通じ、多くの市民が気軽に文化芸術に触れる機会が作られたとともに、出光カルチャーパークの良さを知ってもらう機会につながった。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
17	苫小牧音楽祭 2023 (生涯学習課)	例年実施 (令和3年頃から継 続実施)	一流音楽家による質の高い音楽 の提供及び誰もが気軽に音楽に 触れる機会を構築することか ら、あらゆる世代の市民が音楽 を通じて文化の薫り高く潤いの ある市民生活の形成に資するこ とを目的とし、鑑賞事業として 「パシフィックミュージック フェスティバル公演」「TOM ACON」「S t a n d u p TOMAKOMAI」、支 援事業として「TOMAKOM AI MUSIC A c a d e m y」、実施事業として「ジュ ニア ミュージック クリニッ ク」の5事業を、企業や市民と ともに開催	苫小牧音楽祭実行委員 会	令和 5年 4月19日 (9人) 令和 5年 6月28日 (6人) 令和 5年11月15日 (6人) 令和 6年 3月21日 (8人)	優れた音楽を鑑賞する機会を広く 市民に提供するとともに、若手音 楽家や指導者などの発表の場を提 供、また、本市出身者やゆかりあ る若手音楽家を中心とした演奏会 などを支援、市内の小中学生を対 象に演奏家から直接指導を受ける 演奏クリニックなどの各種事業を 実施することで、あらゆる世代の 市民が気軽に音楽に触れる機会を 通じ、音楽文化に関する意識向上 を図ることができたと考えます。 市民からは、子供と一緒に楽しめ る「音楽の絵本」の公演に対し 「また開催してほしい」などの声 をいただいております。また、 ミュージッククリニックにて一流 音楽家による質の高い音楽指導を 受けた児童、顧問からは好評の声 があり、指導した講師からも、実 施事業に対して高評価をいただい ており、事業の目的どおりの反響 があったものと考えます。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
18	八王子車人形苦 小牧公演 (生涯学習課)	単年度(新規)実施	苦小牧市・八王子市姉妹都市締結50周年の記念事業として、令和4年3月に国の重要無形民俗文化財に指定された「八王子車人形」の公演と西川古柳座の指導によるワークショップを開催し、八王子市との絆をより一層深めるとともに、改めて同市との長い関りを市民が感じる機会を創出することを目的に実施する。 八王子の伝統芸能「車人形」の公演とオープニングに千人隊御会所太鼓「なかよし太鼓」や千人隊踊りを披露	八王子車人形苦小牧公演実行委員会	令和 5年 9月21日 (7人) 令和 6年 2月 9日 (7人)	苦小牧市・八王子市姉妹都市締結50周年記念、勇払中学校と八王子恩方中学校との姉妹校盟約20周年、また、勇払千人隊芸能保存会が創立50周年を迎え、「八王子車人形」公演に先立ち11月16日、西川古柳座によるワークショップには、勇払中学校の生徒のほか市民ら58名が参加し、人形遣い体験では、悪戦苦闘しながらも楽しみながら人形を操っている姿が見られました。公演当日の17日は、悪天候ながら350名と大変多くの方に御来場いただき、公演に先立ち勇払千人隊芸能保存会や勇払中学校などのご協力のもと、太鼓や踊りを披露し、オープニングに花を添えていただきました。また、西川古柳座・札幌浄瑠璃あしり座による「三人三番叟」などの演目や五代目家元の西川古柳氏、西川柳玉氏による人形解説もあり、感情豊かに動き回る人形の姿に魅了されるとともに、普段なかなか触れることのできない八王子市の伝統芸能に理解を深められたのではと考えています。
19	青少年のための 科学の祭典苦小 牧大会 (科学セン ター)	例年実施 (平成17年頃から継 続実施)	小中学生に実験や工作を通して科学のおもしろさ、不思議さを体験し、楽しんでもらうことを目的とする。 理科教諭・科学技術系職従事者や中学生・高校生ボランティアなどがデモンストレーターとしてブースを出展し、来場者の実験・工作・観察体験などを楽しんでもらう。	苦小牧科学の会	令和 5年 9月 2日 (803人)	小中学生が多数来場し、各ブースで体験を楽しんでいた。 昨年度までは新型コロナウイルスの影響で参加申込制であり、参加人数に制限があったが、今年度は参加申込不要で開催することができた。 結果、多くの参加者が来場し、科学への興味・関心を深めていた。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
20	勇払公民館まつり (勇払公民館)	例年実施 (昭和57年頃から継続実施)	勇払公民館を活動の拠点とするサークルや同行会活動の発表の場、地域の方々の交流の場として開催	勇払公民館活動サークル(同好会) 11団体、勇払チビッコ太鼓、勇払千人太鼓 (顧問として 日本製紙(株)白老工場勇払工場、勇払自治会、勇払幼稚園、勇払小学校、勇払中学校、勇払商工振興会、勇武津資料館)	令和 5年10月 1日 (303人)	毎年行っている行事で、勇払公民館活動サークルの発表の場として、市民に披露すると共に交流の場として喜ばれている。
21	選挙啓発事業 (選挙管理委員会事務局)	例年実施	市民の政治参加意識の向上を図るとともに、選挙の大切さを伝え、投票参加を促す。 また、選挙の確実な執行に協力する。	苫小牧市明るい選挙推進協議会	令和 5年 4月 1日 (35人) 令和 5年 4月15日 (27人) 令和 5年 8月 5日 (6人) 令和 5年10月15日 (8人) 令和 6年 2月10日 (8人) 期日前投票所立会人 令和 5年 4月 9日執行 北海道知事及び北海道議会議員選挙 (58人) 令和 5年 4月23日執行 苫小牧市議会議員選挙 (46人)	4月の統一地方選挙では、明るい選挙推進協議会の会員が期日前投票所の立会人として従事し、確実な選挙の執行に貢献している。 また、選挙の期日前投票の開始に併せて啓発を行い、投票日の周知を図ることができた。